Metal & Technology
鉄鋼新聞

発行所 株式会社 鉄鋼新聞社
本　　社 東京都千代田区神田神保町１－101
神保町101ビル
編集局 ☎03(5259)5203 FAX03(5259)5209
業務部 ☎03(5259)5202 FAX03(5259)5208
大阪支社 ☎06(6445)6935 FAX06(6445)6938
名古屋支社 ☎052(735)6556 FAX052(735)6557
http://www.japanmetaldaily.com
Eメール:info@japanmetaldaily.com

日本鋳造

鋳鉄水平連続鋳造材

中国最大手と戦略提携

相互にＯＥＭ供給

日本鋳造（社長・鷲尾勝氏）は、中国の独立系鋳物大手、邯鄲市恒工冶金机機械との間で鋳鉄水平連続鋳造材「マイティバー」に関して戦略的パートナーシップ契約を締結した。邯鄲市恒工冶金机機械（以下、邯鄲）に対して技術支援を行うとともに、日本で販売するマイティバーの一部を邯鄲からＯＥＭ調達する。２０１８年１月受注分から本格的に販売開始する。一方で大断面ダクタイル鋳鉄製の水平連続鋳造材を邯鄲に対してＯＥＭ供給し、中国向け輸出の拡大を図る。国内外の販売強化により、同製品の売上高を20年度までに2割拡大することを目指す。

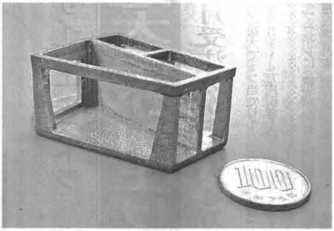
マイティバーの売上高は日本鋳造の全社売上高の約10%に相当する。邯鄲は鋳鉄水平連続鋳造材の中国最大手で、鋳造材の機械加工にも強みを持つ。日本鋳造は今年から邯鄲に対して大断面ダクタイル製品のＯＥＭ供給を開始する一方、邯鄲に製造委託した製品を日本で販売しているが、納期対応で必要な場合など補完的な活用にとどまっていた。

鋳鉄水平連続鋳造材は砂型鋳造材に比べて内部欠陥がほとんどなく、耐圧性など優れた機械的強度が得られる。組織が緻密で硬度が均一なため切削性が良好で、部品に求められる寸法精度も出しやすい。産機・電機・輸送機用部品や金型など幅広い分野で使用される。

国内販売では自社製品と邯鄲製品の価格水準を分け、顧客ニーズを見極めていく。自社製品のものづくり力強化、製品競争力の強化にもつなげる。

日本鋳造 熱膨張ゼロ合金

３Ｄ積層造形に成功



３Ｄプリンタで製造した積層造形品

日本鋳造は、熱膨張ゼロ合金「ＬＥＸ－ＺＥＲＯ」で３Ｄプリンタを用いた３Ｄ積層造形に成功した。従来の鋳鋼品、ブロック材に加えて３Ｄ積層造形品の供給も可能となったことで、熱膨張ゼロ合金の用途開発をさらに進められる。複雑な内部構造、薄肉・軽量化、製品開発サイクル短縮、鋳型模型の不要化などのニーズに焦点を当て、本格的な販売開始に向けて開発を継続する。

用途開発を加速

先端産業などで装置・機器類に対する高精度化要求が急速に高まっている。同社の低熱膨張合金「ＬＥＸシリーズ」は、材料の熱変形に起因する精度誤差を解消できるため、多くの採用実績がある。

ＬＥＸ－ＺＥＲＯの熱膨張係数は、極低熱膨張合金のスーパーインバー材の３分の１以下と極めて小さい。

グラムサイズの超小型からトンサイズの超大物までの鋳鋼品（受注品）の製造やブロック材（在庫品）で対応しているが、鋳物では形状や納期面で制約がある。その点で３Ｄ積層造形は鋳物ほど制約がないため、ＬＥＸ－ＺＥＲＯの用途開発につなげていく。